

＊アカデミー賞他世界映画賞に輝く
映画史上最高の《愛》の名篇！
あなたの胸に
すばらしい感動を捧げます

激動のカサブランカに
激しくも哀しく燃え上がる

恋の炎



ハンフリー・ボガート
イングリッド・バーグマン
ポール・ヘンリッド
クロード・レインス
ピーター・ローレ

アカデミー作品賞・監督賞・脚本賞受賞

カサブランカ

製作ハル・B・ウォーリス
監督マイケル・カーティス
脚本フィリップ・G・エプスタイン
ジュリアス・J・エプスタイン
ハワード・コッチ
撮影アーサー・エディソン
音楽マックス・スタイナー
＜サウンドトラック＞RCAレコード
＜主題曲＞時のたつまな
アンティ・ウィリアムズ(CBSソニー)
ペリー・コモ(RCAレコード)
ニルソン(RCAレコード)

インターナショナル・プロモーション

■日本を席捲するボガートとバーグマン

「カサブランカ」を通して、今や若者のアイドルにまでなっているハンフリー・ボガート。黒いソフト帽、粋なトレンチコートに身を包み、ハードボイルドな雰囲気をつりまき鮮やかに現代に甦った。男としての「ロマン」が消えつつある現代社会に、ハンフリー・ボガートの男臭さ、本当の男の価値が再認識されたのだ。タフでなければ生きて行けない。しかし優しさを失ったら生きる価値がないヘレイモンド・チャンドラー「カサブランカ」はボガート（男）の魅力を再認識させたと同時に、目もくらむような美しさのイングリッド・バーグマンが若者を魅了した。

■「カサブランカ」を彩るバーグマンの憂いを含んだ瞳

「君の瞳に乾杯！」（ボガートがバーグマンに言う名セリフ）。シャンパンで愛を誓う二人。（「恋の喜びにふるえる瞳」）やがて悲しい別離。雨に濡れる別れの手紙：次いでカサブランカでの運命の再会。激動のカサブランカに再び燃え上る二人の愛の炎。（「愛の情熱に燃える瞳」名曲「時のたつま」をバックに、バーグマンの白い帽子と白いスツツがスクリーンいっぱいになりゴージャスな香りをただよわせる。何とも美しく魅惑的なバーグマン。「君の瞳に乾杯」とせいいっぱいの笑顔を見せるボガート（恋の喜びにひたっていた時の甘い響きとうって変って、弱りのある響き）恋の追求をふり捨て、愛するゆえに別れる二人。（「哀しみの瞳にあふれる涙」みずみずしく光り輝くバーグマンは、観る者を陶醉の世界にひきずり込む。

グロリア・スワンソン、ローレン・バコール、ジェファ・ジョーンズなど、ハリウッド全盛期のスターのカンバックが目立つ近年、「カサブランカ」におけるバーグマンの美しさの再認識はハリウッド・ロマンチズム復活の象徴でもある。

■あまりにも有名な愛の名作

この作品は、42年に作られ、戦後日本で封切られ、ハードボイルド・スター、ハンフリー・ボガート、胸ときめく美しさのイングリッド・バーグマンを主役に、国際的キャストとモロッコというエキゾティズムの中で、戦争によってひき裂かれた愛が展開され、当時の時代にピッタリとあって大ヒット。特に甘美な主題曲「時のたつま」は現在でもシナトラ、ニルソン、アンディ等大スターに歌われ生き続けている。

43年のアカデミー作品・監督・脚色の3賞を獲得し、世界的な名作としても記憶されている。

アカデミー作品賞・監督賞・脚本賞受賞

Casablanca

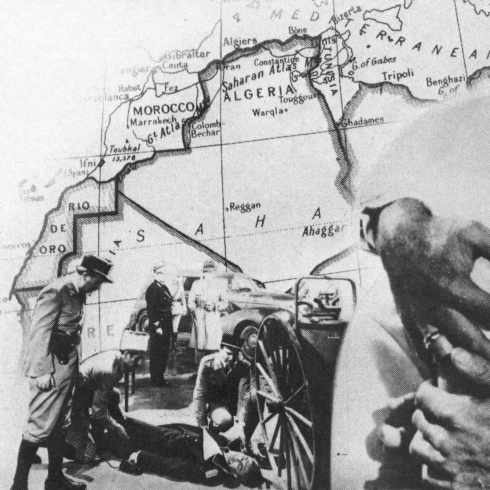
カサブランカ

▶スタッフ▶

製作……ハル・B・ウォーリス
監督……マイケル・カーティス
脚本……フィリップ・G・エプスタイン
音楽……マックス・スタイナー
主題曲「時のたつま」

▶キャスト▶

リック……ハンフリー・ボガート
イルザ……イングリッド・バーグマン
ラスロ……ポール・ヘンリー
警察署長……クロード・レイナス
ウーゲーティ……ピーター・ロー



■永遠の名作の鮮やかな名場面

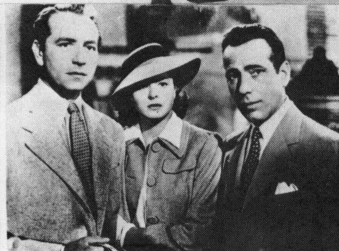
● 錯綜とした戦時下、不倫の恋に身を焦がしたボガートが、今まさに発車しようとする列車の側で、バーグマンからの哀しい手紙をうけとる。雨ふる中、彼女からの手紙は彼の切ない心をにじませる。

● 母国を離れたボガートとの思いもよらぬ再会。2人の心の唄「時のたつま」をバックに、思いを秘めた2人の目が無言のまににきらめく。

● 亡命してゆくバーグマンを見送りながら固い愛国心を覚えたルノー警視総監に、朝霧の中、ボガートが言う名台詞。

「……いいかねルイ、これが君と私の美しい友情の始まりなのだ。」この映画の最も有名なラスト・シーン。

（上映時間 11 時間四十三分）



★世界を魅了して語りつがれる永遠の名作！

カサブランカ/そして誰もいなくなった 5月同時特別ロードショー

特別鑑賞券 ¥900 (当日 ¥1200 のところ) 発売中 (日劇文化 都内各プレイガイド)

お問い合わせは (563) 6043 へ

	1	2	3
そして誰も いなくなった	日・祝 10:30	2:00	5:40
カサブランカ	12:10	3:50	7:30

日劇文化 (2011) 2111

国電有楽町駅・地下鉄銀座駅下車・日劇地下